

花菜さんしのぶ「光の音色」

西野さんがバイオリンを弾く姿をイメージした追悼のキャンドル=23日、浜松市北区の県立三ヶ日青年の家で

浜名湖転覆 再発防止誓う集い

浜松市北区の浜名湖で六月、自然体験学習中のカッターボートが転覆した事故で、亡くなった愛知県豊橋市立章南中学校一年の西野花菜さん(当

三ヶ日青年の家

時)に追悼する「菜の花キャンドルの集い」が二十三日、同区の静岡県立三ヶ日青年の家で開かれた。約二千本のろうそくの明かりの中で参加

者は再発防止を誓った。

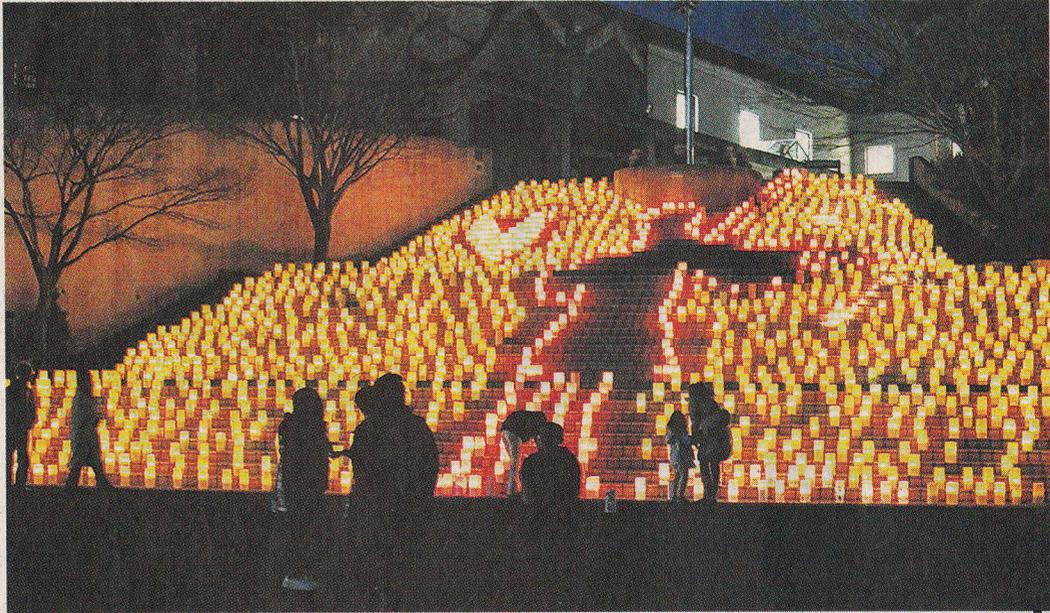
西野さんの名前にちなみ名付けられた集いには同校の合川嘉信校長や同市教委の加藤正俊教育長、西野さんの友人、体験学習を実施した施設の職員ら約百人が参加した。

階段に配置されたり、そこに参加者が灯をとると、菜の花を表現した黄色と緑の明かりに囲まれ、バイオリンを弾く女の子の姿が現れた。

西野さんは生前、バイオリンを習っていた。西

野さんの中学校の担任教諭が描いた西野さんの演奏時の絵を参考に、施設側が演出した。

檀野清司所長(五)は「自然体験を通して、感動や仲間との絆を感じられるプログラムを安全に提供することが私たちにできる唯一の償い」と語り、「二度と同じ過ちを繰り返さない」と誓った。



猫の縄張りめぐり

近所の男性を殴る

埼玉、容疑者逮捕

埼玉県警寄居署は二十二日、殺人未遂の疑いで同県寄居町富田、無職佐々木祐一容疑者(采)を逮捕した。

逮捕容疑は十一月十三日午前零時十分ごろ、寄居町富田の町道で、近くに住む無職男性(モ)の頭を木刀のようなもので数回殴り、頬骨を折る重傷を負わせたことされる。

寄居署によると、佐々木容疑者宅と男性宅は数軒しか離れておらず、面識があった。「(両者が)飼っている猫の縄張りをめぐり、トラブルになった」と供述している。

浜名湖のボート転覆

花菜さんへ輝く音色、

浜松市北区の浜名湖で六月、自然体験学習中のカッターボートが転覆した事故で、亡くなった愛知県豊橋市立章南中学校一年の西野花菜さん(当時一三)を追悼する「菜の花キヤンドルの集い」が二十三日、同区の静岡県立三ヶ日青年の家で開かれた。約二千本のろうそくの明かりの中で、参加者は再発防止を誓った。



西野さんがバイオリンを弾く姿をイメージした追悼のキャンドル=23日、浜松市北区で

再発防止誓う

西野さんの名前にちなんで名付けられた集いには、同校の合川嘉信校長や同市教委の加藤正俊教育長、西野さんの友人、体験学習を実施した施設の職員ら約百人が参加した。施設の階段に配置されたろうそく一つ一つに参加者が灯をともし、菜の花を表現した黄色と緑の明かりに囲まれ、バイオリンを弾く女の子の姿が現れた。西野さんは生前、バイオリンを習っており、中学校の担任教諭が描いた西野さんの演奏時の絵を参考に、施設側が演出した。「自然体験を通して、感動や仲間との絆を感じられるプログラムを安全に提供することが私たちにできる唯一の償い」と語り、「二度と同じ過ちを繰り返さない」と誓った。

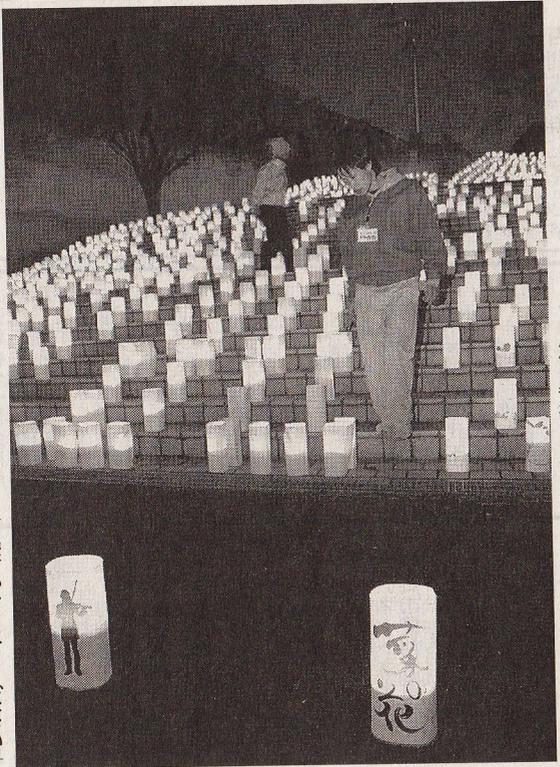
キャンドルで冥福祈る

湖の覆 名一ト 濱ボ 静 2010.12.24 三ヶ日青年の家 再発防止誓う

浜名湖で6月、ボートが転覆して豊橋市立章南中の西野花菜さん(当時一三)が死亡する事故を起こした県立三ヶ日青年の家(浜松市北区)は23日、同施設で「三ヶ日青年の家オープンデー」を開いた。県や青年の家、豊橋市の関係者らが2000個のキャンドルに火をともし、西野さんの冥福を祈り、再発防止をあらためて誓った。

西野さんの担任がデサドルを配置。吹奏楽部だった西野さんが菜の花畑で大好きなバイオリンを弾き、音符やハートに囲

西野さんの冥福を祈ってとまれたキャンドル 23日午後、浜松市北区の県立三ヶ日青年の家



罪し「プログラムを安全に提供できる体制を整え償い。同じ過ちを二度と繰り返さない。花菜さんへ」

見守っていてください」と再発防止への決意を述べた。

浜名湖・ボート転覆事故 西野さんの冥福祈る 三ヶ日青年の家で追悼の集い

浜名湖で今年6月、
野外訓練中のボートが
転覆し女子中学生1人
が死亡する事故があっ
た県立三ヶ日青年の家



キャンドルを前に、事故でなくなった西野花菜さんの冥福を祈る
参加者—浜松市北区三ヶ日町都筑の県立三ヶ日青年の家で

(浜松市北区三ヶ日町
都筑)で23日、地元住
民らが参加して追悼の
集いが開かれた。約2
000本のキャンドル
をともし、事故で亡く

なった西野花菜さん
(当時12歳)の冥福を
祈った。

集いには、西野さん
の両親、西野さんが通
っていた愛知県豊橋市
立章南中学校の合川嘉
信校長ら約50人が参
加。青年の家の檀野清
司所長が「ろうそくの

明かりの中で海のこ
と、仲間のこと、安全
について考えたい。過
ちは二度と繰り返さな
い」と誓った。

これに先立ち、施設
を地域住民らに公開す
るイベント「オープン
デー」が開かれた。11
月に施設を再開して初

めの青年の家主催の
行事。毎年9月に行わ
れていたが、事故を受
けて閉所していたため
延期していた。この日
は地域住民ら約100
人が参加し、キーホル
ダーづくりやビンゴ大
会などを楽しんだ。

【瀬上順敬】